



進路通信

-よりよい進路をめざして-

令和4年6月3日 第2号
県立こやの里特別支援学校
進路指導部発行

新年度も始まり、2か月が過ぎました。児童・生徒のみなさんはもちろん、保護者の皆さんも新しい環境には慣れましたでしょうか。季節の変わり目ということもあり、疲れも出る頃かもしれませんが、6月6日～10日の5日間、高等部3年生は「現場実習」、高等部2年生は「校内実習」を迎えようとしています。3年生は卒業後を見据えた大切な実習になります。また2年生は秋の実習に向けて①5日間同じ作業に集中して取り組む、②社会人としてのマナーなどを学ぶ、といった大切な機会にしてほしいと思います。それぞれ目標を持ち頑張ってくれることを期待しています。



《卒業後の主な進路先について》

就労形態	特徴	仕事・訓練の一例
企業就労 (障害者雇用)	・職場の人から障害への理解や配慮を得て働くことができる。(実態に合わせて労働時間や仕事内容の調整あり) ・パートタイム雇用(時給)が多いが、保険等は加入できる。	スーパー、清掃、製造、事務補助等 多くはパート雇用
職業訓練校	・企業等に雇用されることが可能と見込まれる人が対象。 ・就職するために必要な知識や技能を身につける訓練を行う。 ・入校試験があり、訓練期間は原則1年。	軽作業、SST、清掃、PCによる入力作業など
就労移行支援	・就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練が受けられる。 ・訓練期間は原則2年以内。	軽作業、SST、清掃、PCによる入力作業など
自立訓練 (生活訓練型)	・自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談及び助言その他の必要な支援が受けられる。 ・訓練期間は2年だが、自立訓練+移行支援を合わせて4年間利用して就労を目指す事業所もある。	軽作業、SST、清掃、PCによる入力作業など
就労継続支援 A型 (雇用型)	・企業等に雇用されることは難しいが、雇用契約に基づく就労が可能である人が対象。 ・就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練が受けられる。 ・労働時間を4時間とする事業所が多く、事業所所在地の最低賃金がもらえる。企業就労により近い雇用となるため、勤怠面の指導は厳しい。	リネン、検品、食品加工、清掃、カフェ、袋詰め、リサイクル、事務作業等
就労継続支援 B型 (非雇用型)	・就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される人が対象。利用契約を結ぶ。 ・生産活動やその他の活動の提供を通じ、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を受けられる。 ・利用に当たっては就労アセスメントが必要。	箱詰め、組み立て、農業、検品、お菓子づくり、小物づくり等
生活介護	・日常生活の向上を目的として必要な支援が受けられる。 ・創作活動や健康の維持増進等、利用者の生活リズム作りなどを中心に比較的ゆったりとした活動を行っている。	軽作業等

雇用契約を結ぶ「企業就労」「就労継続支援A型」については、本人及び保護者の希望を基に、日々の学校生活や実習の様子を参考にして、担任や進路指導部で検討します。



裏面へ続く⇒

《事業所の見学について》

(1) 見学の種類

本校で実施する見学方法は、PTAが主催する「事業所見学会」と個々の希望を基に実施している「個別の事業所見学」があります。伊丹市や宝塚市では、地域の福祉事業所が主催する「合同事業所説明会」も実施されます。学部を問わず参加してみてください。地域にどのような事業所があるのか、種別の違いがどういったものなのかを知る機会になり、様々な情報を得られる機会となります。

(2) 個別の事業所見学方法

高等部を中心に個別での見学を受け付けています。ご希望がある際は、担任を通じて見学したい事業所名をお知らせください。学校から事業所へ「見学が可能かどうか」相談させていただきます。事業所が見学受け入れ可能であれば、後日、連絡先や担当者を記したメモとアンケート用紙を持ち帰りますので、担当者の方と見学日の相談をしてください。保護者様への返答まで、しばらくお時間をいただくこともあります。

他学部の方も希望がございましたら、担任へご相談ください。



《行事の報告》

(1) 高等部3年生進路・実習説明会及び地区別懇談会

5月27日、本校および分教室の保護者を対象に、地区別懇談会が行われました。校区である4市1町の役所（役場）の障害福祉課（地域によって名称は異なります）の職員にご来校いただき、各会場でおおよそ45分にわたり、それぞれの行政サービスや進路先について説明していただきました。ある役所の職員からは、「難しいことも多いので、気軽に役所にお越しください。」とお声掛けがありました。

第2部は、本校生と保護者を対象に、実習説明会が行われました。実習先ごとに分かれ、担当教員から実習について作業内容や一日の流れ、持ち物などの説明を受けました。生徒のみなさんもしっかりと説明を聞き、質問をする姿も見られました。

(2) 訓練校見学会

5月31日、本校および分教室の高等部3年生とその保護者の希望者を対象に、国立県営兵庫障害者職業能力開発校（伊丹市）と阪神友愛食品株式会社能力開発センター（西宮市）の2か所の訓練校を見学しました。以前に見学したという理由から、片方だけの参加家族もありましたが、総勢12家族が参加し、各校の特徴や訓練内容の説明を受けてきました。



《新設事業所の紹介》

○オンリー・ONE（就労継続支援B型）：伊丹市

送迎については、要相談とのことです。PP（ポリプロピレン）バンドバッグやハーバリウムなどの自主製品の制作・販売や部品加工などの内職作業に取り組んでおられます。

○JCC 希望（就労継続支援B型）：宝塚市

就労移行支援事業所が閉所となり、B型事業所として施設内外で様々な作業、パソコンスキルやコミュニケーション能力向上等のプログラムを実施されています。

○いろいろ（就労継続支援B型）：川西市

送迎については、要相談とのことです。事業所は駅近なのに静かな一軒家で、軽作業（タオル折り、シール貼り）などに取り組んでおられます。